

やごっぴあ

蜻蛉池公園 夢の森づくり隊会報 第244号 2022年2月27日（日）

第246回定例活動報告

2022年1月23日（日） 天候：（曇り後雨） 10:00～14:00

参加者 会員11人（大人7人 子供4人）



だいぶ綺麗になった竹林ですが、まだまだ不十分です。2022年度も引き続き間伐作業は続けられる予定です。

「第1期 竹林の間伐作業終了」

昨年7月からスタートした「2021年度 第1期竹林の間伐作業」が1月で終了しました。

一口に、竹の間伐作業といっても繁殖力の強い竹は、周辺の環境を大きく変え生態系に大きな影響を与えています。元の環境を取り戻すには、竹を間伐するしかありません。竹の根は毎年8m位伸びると言われています。1年後の地下茎は密な状態になり、そこから筍が伸び、結果的に陽の光を遮ってしまいます。また時代の変化により、実用的に使われていた竹製のザルや籠などは、ほとんど使われなく

なってきており、間伐作業の必要性が社会的に求められています。竹の利用は色々と考えられていますが、有効な手段は無く放置しておけない状態です。

「夢の森づくり隊」では、微力ながら少しでも減らして里山の保全を守ろうと活動しています。今回の「計画的な間伐作業」や、「竹細工教室」などの開催が一例です。4月から、「2022年度 第2期 竹林の間伐作業」が始まりますが、隊では一人でも協力してくれる人を募集しています。ご理解ある方の参加をお待ちしています。

「蜻蛉池公園 竹林の間伐記録」

2021年7月～2022年1月



Action-1

2021年7月、「谷あいの原っぱ」北側斜面から、開始。密集度合の変化を記録するために北側と南側に各2箇所、2.5m四方をテープで囲う。その中の10本前後の直径を測定し記録。その他の竹を伐採する。



Action-2

2021年8月、「梨ようき池」南側、孟宗竹林の竹垣根入り口付近を間伐。切った竹は、枝を取り幹と枝に分別。子供会員も鉈を握り上手に枝払いを手伝う。



Action-3

2021年8～9月、「梨ようき池」南側全面の間伐作業。伐採した竹は約100本以上。機械では運び出せず全て人力で行う。足場の悪い斜面、ヘルメットを着用し運び出すのに一苦労。かなり整備された孟宗竹林。



Action-4

「谷あいの原っぱ」南側「真竹の竹林」の間伐を行う。孟宗竹と比べ、細くやや柔らかく軽いので扱いやすい。右端は、竹を砕く「粉碎機・チッパー」。竹が枯れた後、細く分割し竹チップを作成する。



Action-5

数10本の孟宗竹を搬出するには、かなりの体力が必要である。「谷あいの原っぱ」西端から数10mある広場中心まで運び出すには、小型トラクターを使用。かなり労力の節約ができる。



Action-6

切り出された孟宗竹は、処理しやすいように、手作業で枝と幹に分断。今まで不具合で使用できなかったチェーンソーを修理し、この時期から使用し始める。処理能力が高く、非常に助かる。



Action-7

2021年12月～2022年1月、秋も深まり冬に突入した。「谷あいの原っぱ」に積み重ねられた孟宗竹を、整理する。枯れて放置されていた竹も奥から、運び出す。細かい枝も拾い集め綺麗になった竹林前の広場。

準例会 短報

2022年2月13日(日) 天候(雨) 10:00～13:00

参加者 会員10人(大人6人 子供4人)



雨の中で畝作り

ジャガイモを植える畝作りが今日のメイン活動ですが、あいにく朝から雨です。会員たちは、カッパを着て働いています。しかし風邪をひいては大変です。13:00に切り上げて終了しました。

雨のイタズラで画像が見にくいですが。湿った重い土を耕し午前中に完成させました。

第42回 竹細工教室

- 2月09日(水)
- 10:00~15:00
- 参加者: 9名
- 蜻蛉池公園・スポーツハウス内

●再度練習です

今回も、午前中は「四海波花箆」の練習です。1ヶ月後に迫った「アートマルシェ」に備えた練習です。だいぶ習得した様子で、安心です。練習は後1回予定しています。



● 真剣な眼差し

ほとんどマスターしているKNさんです。ヒゴの種類を変えて編んでいます。綺麗な「四海波花箆」が完成していきます。一方、相談しながら最後の編み方を確認中の、KNさんとIWさんです。ほぼマスターした模様です。これで本番も大丈夫になりました。15日現在、参加者は5名だそうです。



●ヒゴ作りに専念

TUさんは、ヒゴ作りに専念しています。誰もが通る壁です。この壁を突き破って、カゴ作りの楽しさを味わってほしいものです。後少し頑張ってください!!

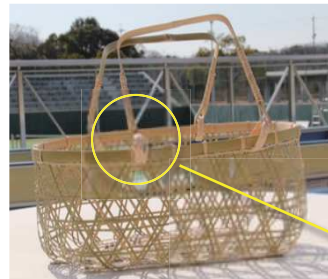


作品で一す



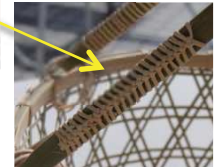
HYさんの作品です。ダークブラウンの皮籐で、趣のある仕上げになっています。

KNさんの作品です。すっかり竹細工の魅力にとりつかれたようです。



オリジナルの作品を毎月作ってくるKOさんの作品です。

持ち手の下部に、飾り模様が、入っています。



ボランティア隊員募集中

里山で汗をかきませんか?四季の変化を肌で感じられます。春には、ジャガイモやサツマイモを植えつけ、子供らに食育について知ってもらいます。夏には、大人気のソーメン流しも林の中で行っています。子供会員は、のびのびと林の中で楽しんでいます。大人も遊びながら里山の保全活動を行っています。毎月第2、4日曜日に活動をしていますので、体験してみませんか?下記のホームページでも、会の活動を詳しく掲載しておりますので、ご覧ください。

編集後記

オミクロン株の感染力は、衰えたようには見えない。若者は軽い症状で収まるようだが、中には20代の女性が3日間スマフォを操作できず、自宅で療養していたなどの情報が周辺から聞こえて来た。20日現在ややピークを超えたかのような感じだがまだまだ油断は禁物。用心に用心を重ねることに専念したい。特にマスクの着用は必須であると思う。

発行 『蜻蛉池公園 夢の森づくり隊』
 フィールド 大阪府営蜻蛉池公園内『ふれあいの森』 活動日: 毎月第2・第4日曜日
 時間 AM10:00~PM3:00
 住所 〒596-0815 大阪府岸和田市三ヶ山町大池尻 701
 Tel: 072-443-9671 Fax: 072-443-9672

<http://yumemoritai.starfree.jp/> 「蜻蛉池公園 『夢の森づくり隊』 ホームページです」
<https://ameblo.jp/yumemoritai/>

会報に掲載した文・写真は、記名が表示されている以外は、濃名が担当しました。校正・小林